

# 第4学年 特別の教科 道徳 学習指導案

## 1 主題構成表

主題名 自分に正直      資料名 ぼくは MVP (出典 光文書院)

<p><b>■内容項目 A—(2) 正直</b> 過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活すること。</p>	<p><b>■価値の分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本内容項目の目指すものは、自分を偽らずに正直に行動し、豊かな人間関係を築いていこうとする態度を育てることである。</li> <li>・子どもたちは心が安定した状態で晴れ晴れとし、明るく生活することを望んでいる。そして、うそをついたりごまかしたりせず自分自身に正直であることを基盤としている。しかし、自分にとって都合の悪いことが生じたとき、うそをついたり、ごまかしたりして逃れようとしてしまいがちになる。</li> <li>・これは誰でもあることである。うそやごまかしでその場を逃れることができたとしても、「本当は・・・」という心の傷として残ってしまったり、周囲からの信頼を失ったりすることもある。</li> <li>・自分で自分の過ちを認めることは、容易ではないが、正直の行動したときのすがすがしい気持ちがあるこそ、明るい生活ができるようになる。そして、自分や周りの人に正直であることが、集団生活を送る上でより豊かな人間関係を築く基盤となってくると考える。</li> </ul>	<p><b>■資料の分析</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本資料は、「正直にいうことは大切だ」と分かっているにもかかわらず、なかなか言い出せない主人公の心の葛藤をよく表している資料である。</li> <li>・ドッジボールをしているときに、主人公の足にかすったが、それを誰も気付かれずに試合が進んでいく。</li> <li>・主人公は自分がアウトになって外野に出るかどうか迷うが、友達に「早く、早く。ボールが来ちゃうよ。」と促されてそのままゲームを続けてしまう。</li> <li>・自分の活躍でチームが大逆転し、友達から「今日の MVP。」ともてはやされてしまうが主人公は「自分は、何かとんでもないことをしてしまったのではないか」と気が重くなってしまう。</li> <li>・児童たちもドッジボールが好きで休み時間でも行っており、誰もが勝敗にこだわる時期で、「当たった」「当たってない」とのやりとりも多い。そのため主人公の葛藤にも共感しやすく、自分と重ね合わせて考えることができる資料である。</li> </ul>
<p><b>■内容項目から見た児童の実態</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学級は元気な児童が多く、自分のできごとで友だちを助ける雰囲気がある。</li> <li>・遊び係を中心とした「学級遊び」も盛んに行われているが、「勝ちたい」という児童が多く、つい過ちをごまかしてしまうことがよくある。</li> <li>・「叱られたくない」、「自分が損をしてしまう」等の思いから、正直に行動できずにうそをついたりごまかしたりしてしまうことがある。</li> </ul> <p><b>■要因</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「勝ちたい」という思いが強いため、過ちを素直に認めることができず、ごまかしてしまう。</li> <li>・自分を正当化したい思いや周りの仲間から嫌われないかという思いがある。</li> </ul>		
<p><b>■ねらい</b> 自分に不利になることでも、自分を偽らないで正直に行動しようとする。</p>		
<p><b>■展開の構想</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間の学級遊びや体育の授業や学校生活での経験から、嘘をついたりごまかしたりした時のトラブルや思いに気付かせる。</li> <li>・過ちを正直に言えなかった結果、思いもよらない事態になってしまった「ぼく」の姿を通して、正直に言うことの大切さを実感する。</li> <li>・正直に言うことで、明るい心で楽しく生活できることに気付かせる。</li> <li>・本時の学びや自分の経験を振り返ることで、自分自身の改善点を考え、みんなと楽しく活動するために正直に行動することで、自分も周りも気持ちよく生活できると感じるができる。</li> </ul>	<p><b>■基本発問 (◎中心発問)</b></p> <p>○正直とはどういうことでしょう。</p> <p>○なぜ、「ぼく」は迷ったのでしょうか。</p> <p>○ MVPと言われたときのぼくはどんな気持ちでしょう。</p> <p>◎「ぼく」はこの後、どうしたらよいのでしょうか。</p> <p>○正直とはどのようなことでしょう。</p>	

2 学習指導過程

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>1. 資料への導入を行う。 正直についての考えを話し合う。</p> <p>○ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">正直とは、どういうことでしょうか。</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うそをつかないこと。</li> <li>・ごまかさないこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入で立てた問いを意識しながら教材を読むように促す。</li> </ul>
展開	<p>2. 資料を読み、正直に生活することのよさについて考え、交流する。</p> <p>○ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">なぜ、「ぼく」は、迷ったのでしょうか。</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分は当たったと思っているけど、ただし君に声をかけられたから。</li> <li>・当たったから外野に出なければいけないけど、誰も気づいていないからいいかな。</li> <li>・ボールが当たったと言いたかったけど、言い出せなかった。</li> </ul> <p>○ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">MVPと言われたときのぼくはどんな気持ちでしょう。</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うれしくない。</li> <li>・うそをついてまでMVPは取りたくない。</li> <li>・後悔している。</li> <li>・もやもやしている。</li> <li>・MVPと言われたけど、どうしたらいいだろう。</li> </ul> <p>◎ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「ぼく」はこの後、どうしたらよいのでしょうか。</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正直に言った方がよい。</li> <li>・今さら言ったら、みんなに何て言われるだろう。</li> <li>・本当のことを言った方がすっきりするし、みんなも分かってくれる。</li> </ul> <p>3. 今日の学習から考えたことをまとめ、交流する。</p> <p>○ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">正直とはどのようなことだと思いますか。</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の不都合なことがあっても自分の心にうそをつかないこと。</li> <li>・ごまかさないこと。</li> <li>・正直に言うと気持ちよく生活できる。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><span style="border: 3px double black; padding: 5px;">正直にいうと、気分もすっきりし、楽しい。</span></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ぼく」の気持ちを想像しながら聞くように促す。</li> <li>・休み時間の学級遊びや体育の授業での経験を想起させる。</li> <li>・話のあらすじをつかませる。</li> <li>・ワークシートへ記述する。</li> <li>・子どもの発言の迷いを整理して板書する。</li> <li>・正直に言い出せずに迷っているぼくの気持ちを考えさせることで、自分の問題として捉えさせる。</li> </ul> <p>・MVPと言われても、一人気が重くなっている「ぼく」の様子に着目して考えさせる。</p> <p>・「ぼく」は正直ではないのかと投げかけ考えさせる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>うそをついたり、ごまかしたりすることで、後悔につながることを理解できたか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートへ記述する。</li> <li>・書くことで理解を確かにし、実践への意欲や態度につなげる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>書く時の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだこと</li> <li>・これまでの自分</li> <li>・これからの自分</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>過ちや失敗があっても正直に言うことを心がけようとしている。</p> </div>
終末	<p>4. 教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今は正直に言えない自分でも、正直に言うことが正しいことに気づき、実践しようとするように促す。</li> </ul>

### 3 道徳の時間（本時）と他の教育活動との関連

#### <場の内容とねらい>

#### <日常活動>

#### <児童の意識>

#### <指導・援助>

**学級活動**  
学級目標づくり

- ・学級全員でどんな学級にしたいのか話し合った。そこで、自分で考え、仲間を大切に、元気で明るい学級にしたいという願いから「Smile いっぱい」という学級目標に決まった。
- ・毎日の生活の中で、学級目標を意識して行動する。
- ・自分の考えを何でも話せる学級づくりに努める。

**委員会活動**

- ・「きもちのよい中小」に向けての活動を誠実にやり、明るく楽しい学校生活にする。

**朝の会**

- ・毎日「今日のめあて」を決め、達成できるように気がついた子が呼びかけ、声をかけ合う。

・時間を守れるように休み時間に仲間から声をかけられたら素直に聞こう。

・右側通行をするように呼びかけられたら、自分の過ちを認め、やり直すようにしよう。

・友達からの呼びかけに素直に答えるようにしよう。

- ・朝の会や帰りの会で仲間のよいところを見つけ、認める場を設定する。
- ・いろいろな子と関わる機会を増やすために、席替えを定期的に行う。
- ・学級のみみんなで頑張っていることを学級目標と照らし合わせて、価値づける。

- ・各教科の学習では、一時間の見通しをもちながら学ぶことができるようにする。
- ・自分の考えが話せるようにネームプレートなどを使って意欲づけをする。
- ・「教室はまちがえるところ」を合言葉にして、一人一人の個性を大切にする。

**休み時間**

- ・学級遊びの時間を位置づけ、全員が楽しく遊べるように呼びかけ合う。

・自分の考えをごまかさないで素直に話そう。

・仲間からの呼びかけは聞こう。

・トラブルがないと学級遊びが楽しい。

- ・学びの手順や活動を明確にして、児童が自主的に学び続ける環境を整える。
- ・仲間との関わりをふやし、お互いの思いに触れながら活動できるようにする。

**道徳の時間**  
「ぼくは MVP」  
内容項目 A- (2)

- ・過ちや失敗はだれでもあるが、それをごまかさないで正直に行動することで、自分も周りも気持ちよく生活できると感じる。

**帰りの会**

- ・「今日のスマイル」で仲間のよさを見付け合う。

・ぼくも同じ思いをしたことがあるな。

・ボールが当たったけど、当たらないようにしたことがあるな。

・おにごっこのときにタッチをしたか、しなかったでもめて、学級遊びが楽しくなくなったな。

- ・自分の体験を交えて話せるように、同じような経験がないか、確認しながら進めていく。
- ・どの子も自分の言葉で思いが伝えられるように、話す活動だけでなく、書く活動も取り入れる。

**休み時間**

- ・学級遊びでの「ドッジボール」や「鬼ごっこ」など、子どもどうしの関わりの中で、自分の心に正直に言えることができる。

**家庭との連携**

- ・児童の良かったことを家庭に連絡し、実践意欲を高める。

・自分の過ちや失敗を認めていけるようにしよう。

・正直に言った時は気分がすっきりするな。

・正直に話した時は、自分だけでなく、仲間も気持ちがいいな。

- ・正直に話したときには、子どもに声をかけたり、「帰りの会な」などで子どもたちに広めるようにする。